

農業競争力強化農地整備事業
おんながわ
「女川地区」

令和7年1月24日

農業競争力強化農地整備事業【女川地区】《再評価》

おんながわ

【事業概要】

○目的

いわふねぐんせきかわむら

本地区は岩船郡関川村の北部に位置した中山間農業地帯で水稻を基幹作物としている地域であるが、多くが未整備の狭小な区画、約2m幅の狭い農道、用排兼用の土水路による排水不良等により、営農に支障を来している。

このため、本事業によりほ場の大区画化、農道及び用排水路を整備するとともに、経営体等への農地集積を図り、生産コスト低減や複合営農の展開を行うことで、安定した農業経営を確立し地域農業を発展させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

○概要

事業名：農業競争力強化農地整備事業

地区名：女川地区

関係市町：岩船郡関川村

関係土改：関川村土地改良区

事業工期：H26～R8

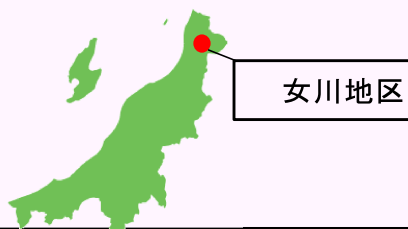
受益面積：252ha

事業費：7,341百万円

主要工事：区画整理187ha

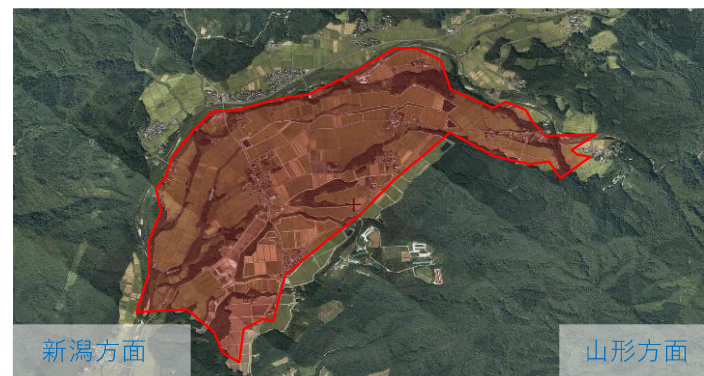
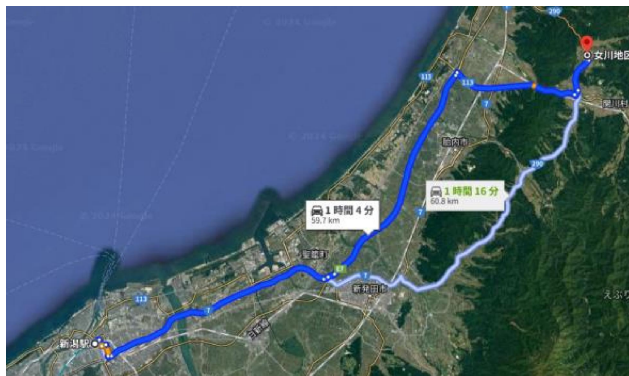
(整地工187ha、農道44km、
用水路38km、排水路30km、
暗渠排水187ha)

用水路 8km、排水路 8km、
暗渠排水 65ha



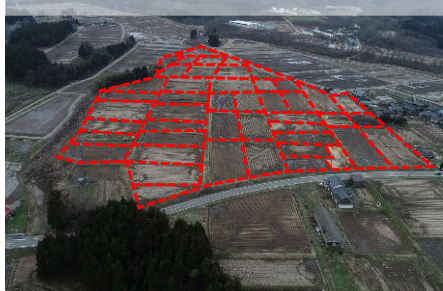
1. 位置図

新潟駅から車で約60分の場所にある、関川村市街地の北部に位置する。



2. 地区の課題

①複数の狭小な区画（20a程度以下）



②幅が狭い農道（約2m幅）

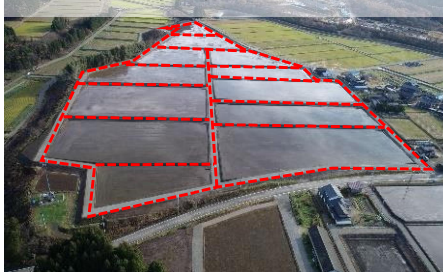


③用排兼用水路（排水不良）



3. 事業実施後

①大区画化（50a程度以上）
※地区内最大区画は1.8ha



②有効幅員4m幅の農道を整備



③排水改良により乾田化



農業農村整備事業等再評価地区別資料

局	名	北陸農政局
---	---	-------

都道府県名	新潟県	関係市町村名	いわふねぐんせきかわむら 岩船郡関川村
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	おんながわ 女川
事業主体名	新潟県	事業採択年度	平成 26 年度
〔事業内容〕 事業目的： 本地区は、岩船郡関川村の北部に位置し、一級河川女川の左岸の中山間農業地帯で水稻を基幹作物としている地域である。多くが未整備の狭小な区画、約 2 m 幅の狭い農道、用排兼用の土水路による排水不良等により、営農に支障を来している。 このため、本事業によりほ場の区画整理、農道及び用排水路を整備するとともに、経営体等への農地集積を図り、生産コストの低減を行うことで、安定した農業経営を確立し地域農業を発展させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。 受益面積： 252ha 主要工事計画： 区画整理 187ha（整地工 187ha、農道 44km、用水路 38m、排水路 30km、暗渠排水 187ha） 用水路 8 km 排水路 8 km 暗渠排水 65ha 総事業費： 7,341 百万円（計画総事業費：6,895 百万円） 工期： 平成 26 年度～令和 8 年度（計画工期：平成 26 年度～令和 4 年度） 関連事業： 県営ため池等整備事業 おわだ 小和田地区、県営ため池等整備事業 しんぼり 新堀地区			
〔項目〕 ア 事業の進捗状況 本地区の整地工、農道工及び用排水路工は完了しており、令和 5 年度までの進捗率は 89.4% である。暗渠排水については、事業量の 95.2% が整備済みであり、引き続き整備を進める予定である。 ① 計画工期に対して著しい変更は認められないか 本地区は、平成 26 年度に事業採択されたものの、令和 4 年度に発生した豪雨災害の復旧事業との調整に時間を要したことから工期を延伸することとなった。その後は区画整理が進み残事業の暗渠排水の整備も令和 8 年度完了に向けて事業進捗を図る予定である。 ② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか 地元負担について、関係者との合意形成が図られている。 イ 関連事業の進捗状況 本地区の関連事業は「県営ため池等整備事業 小和田地区」、「県営ため池等整備事業 新			

堀地区」であり、新堀地区は平成 29 年度に事業完了している。小和田地区の令和 5 年度までの進捗率は 87%であり、令和 6 年度完了予定である。

① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。

② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
本地区は、国営附帯地区に該当しない。

ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

① 受益面積の増又は減が 10%未満であるか

受益面積の増減は 10%未満であるが、受益農地等の地区編入及び除外のため現在事業計画変更（令和 7 年 2 月計画確定予定）を行っている。

② 主要工事計画の著しい変更が認められないか

計画変更（令和 3 年 4 月計画確定）以降、計画通りであり、変更はない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、農業効果の算定基礎となる地域農業振興の基本方針などの諸情勢の変化を踏まえ計画変更済みであり、計画変更以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の 10%未満であるか

受益面積増減による計画変更を行っているが、計画事業費の変更はない。

② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか

岩船郡関川村の農業振興地域整備計画と整合が図られている。

③ 費用対効果分析の結果

(B/C) 1.01（現計画時：1.02）

オ 環境等の調和への配慮

本地区は、関川村農村環境計画において「農地エリア・高生産性農業ゾーン」に区分され、環境に与える影響を極力少なくするよう配慮する地域として設定されている。

本地区では、年間を通して水辺環境が残る一部の排水路を生態系配慮水路として整備することでホトケドジョウなどの生き物の生息環境を確保するなどし、それを地域住民や土地改良区を中心に保全管理していくことによって農村環境の維持に努めている。

カ 事業コスト縮減等の可能性

埋蔵文化財保護盛土材に建設発生土を有効利用することで、建設コストの縮減を図った。

今後、本事業によって実施予定の工事においても、積極的にコスト縮減に努めることとする。

キ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

ほ場整備事業を契機に新たに設立された生産法人を中心に農業経営を進めようとしており、農業法人等への農地集積率は 33%（平成 26 年度）から 57%（令和 5 年度）に増加している。

今後、地元では、地域計画策定に伴う促進計画の見直しを行うとともに、目標の達成に向けて、各集落への再度周知と啓発を行いさらなる集積率の向上を図っていくこととしており、経営基盤の強化や地域農業の発展が図られる本事業の早期完了を要望している。

ク その他

第 1 回計画変更年月日（計画確定日） 平成 30 年 1 月 31 日

第 2 回計画変更年月日（計画確定日） 令和 3 年 4 月 18 日

第3回計画変更年月日 現在法手続き中 令和7年2月計画確定予定	
事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和7年度予算を要求する。
第三者 の意見	
補助金 交付の方針	

農業競争力強化農地整備事業

おんながわ

「女川地区」 事業概要図 【No.4】

○総事業費 7,341百万円
(R5まで6,562百万円 進捗89.4%)

○工期 H26～R8

○主要工事

区画整理 187ha

(区画整理内訳)

整地工	187ha
(R5まで187ha施工済み 進捗100%)	
農道	44km
(R5まで44km施工済み 進捗100%)	
用水路	38km
(R5まで38km施工済み 進捗100%)	
排水路	30km
(R5まで30km施工済み 進捗100%)	
暗渠排水	187ha
(R5まで175ha施工済み 進捗93.6%)	

用水路 8 km
(R5まで 8 km施工済み 進捗100%)

排水路 8 km
(R5まで 8 km施工済み 進捗100%)

暗渠排水 65ha
(R5まで65ha施工済み 進捗100%)

